

02・体調不良を黙つていた罰として、耳舐め乳首コキクリイキの三点責めセックスをされる

トラック01『怪しい薬を浴びたので、催淫状態などになる』からそのまま続き。  
外は雨。18時すぎ。

### SE1 外の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【部屋の外の音を、部屋の中から聞いている】

【トラック01のSE1と同じ音だが、開始位置を変えて流す】

【0—10秒ほど流してSE2】

【その後、音量が小さくなる】

【ごく小さな音量で流す】

【場面転換するまで流し続ける】

### SE2 クロエがベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、主人公にキスする。

●正面 0センチ

「※3回※ キスする。

軽く触れるだけのキス】

……ちゅ。ちゅ。ちゅつ……」

△主人公

「あの……」

●正面 0センチ

「『なあに?』と尋ねる『何?』

何?』

△主人公

「えくつと……その……。

おしおき、つて……」

クロエ、『左 0 センチ』に移動して話す。

### ●左 0 センチ

「ひそひそと。少し意地悪にセクシーに。

聞き手をギヤップでドキドキさせるイメージで】

そうだよ？

あなたはこれから、あたしにおしおきされちゃうの。

【ひそひそしつつ、普段の口調寄りの話し方に戻る。

主人公とセックスしたいのは正直やまやまだが、それよりももつと確認しておくべき事  
があるので】

……ところで。

まず、何罪（なにざい）かわかつてる？

### 〈主人公〉

「こつそり出歩いて、それを『そつくりさん』なんて言つて。  
ごまかそうとした罪……？」

クロエ、『正面 15センチ』に移動して話す。

●正面 15センチ

「「ちょっと『キリッ』とした感じで始める。

その後『……では、なくて』でトーンを変える。

コミカルな感じで。

自分が怒つていて、主人公に改めてほしいと思つてている点について詳しく述べる。

しかしむろん怒つてているわけではない。この件を終わらせる前の、最後の確認のような感じで

そう。あなたの罪（つみ）は、あたしに隠し事をしてた事……では、なくて。いくら人の為とはい『こんな体調の中、こそこそ仕事に出てた罪（ざい）』。

さらにそれを『存在しないそつくりさんの仕業つて事にしようとした罪（ざい）』です。これ。なかなかの重罪だよ。

悪いって思つてる？』

〈主人公〉

「……思つてるわ……。ごめんなさい」

●正面 15センチ

「かわいく、深く頷く。

そして、さらっとこの件を済ませる。

この『無理はしないでほしい』という事は、どうしても伝えておきたいのでうむ。よろしい。

それだけわかつてくれたらしいの。

もうどうか、無理はしないでね』

〈主人公〉

「肝に命じます……」

●正面 15センチ

「[にっこりと嬉しそうに。満足げに]

うん♪

〔優しい声になつて〕

……じゃあ、あたしも。

〔あまりトーンは変えないが、改めてきちんと謝る。〕

自分にも至らない点が多数あつたと思つて いるので】

ごめんなさい。

ごめんね。もつと早く助けてあげられなくて。

三日間、ずっと苦しかつたでしょ。

あたし、あなたの彼女なのに、すぐに何（なん）とかしてあげられなくてごめんね】

〈主人公〉

「いいえ。あなたは悪くないわ。……全部わたしが悪いのよ。

わたしがあんな無茶をしなければ、こんな事にはならなかつたわ】

●正面 15センチ

「優しく、諭すように。

クロエは主人公がした事を『何も間違つていない』『主人公らしく、誇らしい行為』だと思つて いるので】

ううん。それは違うよ。

あなたは間違つた事なんてしてない。

薬品の事故からあの子を守つた事も、そのせいで色々な薬を浴びちやつた事も。【ちよつとだけコミカルに。

『間違った事はしていない』と思う事と『心配なので、あまり無茶はしないでほしい』という思いは両立するので

……まあ、心配はしたけど。

【再び優しく、諭すように。

少しゆっくり目に。

クロエは主人公がした事を『何も間違っていない』『主人公らしく、誇らしい行為』だと思つて いるので

あなたが『いい』って思う事をした結果なんだから、それでいいの。

それに……あたしがもしかあなたたつたら、同じ事をしてたんじやないかな、って思うよ。

だからあたしは、こうなつた事自体には怒つてないし……。

あなたのそういうところ、好きだなあつて思つてるよ』

〈主人公〉

「クロエ……」

●正面 15センチ

【明るく、優しく。

思えば主人公は、昔から変わらないので】

昔から変わんないよね！

あなたつて。『これだ！』って決めると、もう足が動いてるんだもん。  
まあつまり、それがあなたなんだと思う。  
だから、いいんだよ。

【明るく、優しく。

改めて主人公をねぎらう】

今日まで、よく頑張ったね。よく耐えました】

〈主人公〉

「クロエ……！」

SE3 主人公が抱き着く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、近づく。

抱きつかれた事により、右耳に話しかける形になる。

「少し驚いて。主人公がいきなり抱きついてきたので

あ……。

【優しく微笑む】

ふふ。よし、よし。

【※1回※ 耳にキスする。  
軽く触れるだけのキス】

ちゅっ♥』

△主人公

「本当はわたし、怖くて、怖くて……！」

△右 0センチ

【優しく相槌を打つ】  
うん』

△主人公

「お医者様やあなたのおっしゃる通り、この薬の作用自体は大した事がないとわかつてい  
るの」

●右 0 センチ

「【優しく相槌を打つ】

……うん」

〈主人公〉

「でも、それでも。自分の身体が自分のものではないようで。  
ずっと、怖かったの……！」

●右 0 センチ

「【優しく】

少しゆっくりめに。

主人公の言葉を肯定し、受け止める

うん……そうだよね。話してくれてありがとう。

そうだよね。

本当はどうにかなつちやいそうで、不安だつたよね。

大丈夫だよ。もうあたしがいるからね。

【薬の件について述べる。

クロエはこの件について既に調べており、特に危険はない事を把握しているので】この薬の事……あたしも調べたんだけど。

多分あなたの予想通り、作用はいずれ抜ける。  
だから、特に心配しなくても大丈夫なはず。

【少し間をあけてから。

しかし、完全に安心という訳にはいかない。

なので、あるかも知れない問題点について述べる】

ただ……問題は。

あなたが単に『催淫性の薬一種類だけを浴びました』ってわけじゃなくて。  
他にも色々被つちやつてるせいで、他の……予想もつかない化学反応とかも、起きる可能性があるって事なんだけど。

【言いかけて、やめる。

いたずらに可能性について言及しても、主人公を不安にさせるだけだろうと判断したので

【例えば……。

【優しく明るい声で。

【主人公を安心させたいので】

……ううん。その辺は考えてもしようがない。前向きにね。

少なくとも、あたしが想定してる中で危険なものはないから。

どうしてもどうにもならなくなつたら、また病院行こう？

その時はあたしも一緒に行くから

（主人公）

「うん……！」

ううつ……ぐすつ……うわーん……」

SE4 クロエが移動する音

（最初から最後まで流す）

クロエ、『正面 15センチ』に移動して話す。

（正面 15センチ）

（優しく微笑む）

ふふつ。

（優しく明るい声で。

主人公を安心させたいので）

あー。泣いちやつた』

SE5 クロエが主人公の背中を『ぽん、ぽん』と叩く音

【最初から最後まで流す】

【2回繰り返して流す】

【小さめの音量で流す】

【繰り返して流す】

【次の『クロエ』のセリフと同時に流し始め、セリフ終わりと同時にストップする】

●正面 15センチ

【優しく明るい声で。】

【主人公を安心させたいので】

よしよし。今日は甘えん坊さんだね。

ま、当たり前か。

今まで怖かったよね。

【ゆっくりめに、優しく】

よしよし。よしよし。よしよし……』

クロエ、『正面 0 センチ』に移動して話す。

●正面 0 センチ

「【※1回※ キスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅっ」

クロエ、『左 0 センチ』に移動して話す。

●左 0 センチ

「【とても優しく。

主人公を安心させたいので】

もう、一人で悩まなくていいからね。

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅっ。

「【とても優しく。

主人公を安心させたいので】

あたし達……付き合ってるんだから。

二人でなら、どんな事も。どうにだつてなるんだからね。

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ  
♥』

SE6 主人公がクロエの身体に自分の身体を擦り付ける音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【小さめの音量で流す】

【次の『クロエ』のセリフと同時に流し始め、▲1でストップする】

クロエ、『左 0センチ 上10センチ』に移動して話す。

●左 0センチ 上 10センチ

【※3回※ ゆっくりと呼吸する。

主人公の髪の匂いを嗅いでいるイメージで  
ふうう……はあ。ふーっ……。

【※3回※ 髪にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ。ちゅ。ちゅつ♥】

クロエ、『正面 15センチ』に移動して話す。

●正面 15センチ

「優しく、でもにやにやと。

嬉しそうにからかう。

主人公がさつきから、自分の股間をクロエの身体に擦り付けてきているので】

えっちだ♪ ♥

そんなにしたかったの?】

△主人公△

「……♥」

クロエ、『左 0センチ』に移動して話す。

●左 0センチ

「優しく、でもにやにやと。

嬉しそうに。クロエも主人公とセックスしたいので

いいよ？ しょ？

もう我慢できないんでしょ。いいよ♥

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ♥

【優しく、でも少しセクシーに】

舌出して……？】

▲1 ここでSE6がフェードアウトする。

クロエ、『正面 0センチ』に移動して話す。

●正面 0センチ

【※しばらく※ キスする。

舌を出して、舌と舌をたっぷりくっつけるディープキス】

んつ……ちゅつ。

んつふ……れえろ……ちゅぱつ。

れへろ……れへろ……じゅるつ 

【口を離しながら、少し舌つたらずに。

『これ』が『こひえ』。

『くつっけて』が『くつひゅけへ』になる。

※厳密にこの通りでなくてOKです※】

ふふ。かーわいい。

こひえ、好きだよね…… 

べろとべろ……先つちよから付け根までくつひゅけへするキス。

【舌を出して、舌と舌をたっぷりくっつけるディープキス】

あんふ……じゅろつ 

【口を離しながら、少し舌つたらずに。

『いいよ』が『いひよ』。

『いっぱいしよ』が『いっぱいしよ』になる。

※厳密にこの通りでなくてOKです※】

いひよ。

いっひやいしょ……？

【※しばらく※ キスする。

舌を出して、舌と舌をたつぶりくつつけるデイープキス。  
先程よりもねつとりしたイメージで】

んつ…… ♡ れれれ……。

んつふ……んくつ……ひゅふふ……つ……じゅるつ ♡

れーろ……れーろ……れーろ……れーろ……。

れれれれ……ちゅぶつ ♡

れーろ……れーろ……れーろ……れーろ……。

【※5回※ 呼吸する。

苦しそうな興奮気味の呼吸から、だんだんゆつくりとした呼吸になる】

はーつ、ふーつ、はーつ、ふう。  
ふううつ……。

【口を離しながら、嬉しそうに】

あたしのベロ……大好きだもんね……。

【※1回※ キスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ ♡

【優しく、でも少しセクシーに】

もつとしょ……♥

【※しばらく※ キスする。

※キスしたまま※ 興奮気味に鼻呼吸する。

舌を出して、舌と舌をたつぶりくつつけるディープキス。  
先程よりもねつとりしたイメージで【

んつふ……ちゅ

ちゅるるるつ……ちゅぱつ

ふー、ふー、ふー、ふー。

はー、ふー、はーつ……ふーつ……

んつ♥ ちゅつ♥ ちゅつ♥ ちゅつ♥

SE7 クロエが主人公の身体をまさぐる音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【次の『クロエ』のセリフと一緒に流し始め、▲2 まで流し続ける】

●正面 0センチ

「※しばらく※ キスする。

※キスしたまま※ 興奮氣味に鼻呼吸する。

舌を出して、舌と舌をたつぶりくつつけるデイープキス。

先程よりもねつとりしたイメージで

はーふう、はーふう、はーふう……。

ちゅっ♥ えれれれ……ちゅっ♥

ちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅっ♥

はーふう、はーふう、はーふう。

はんむ……じゆるるるるつ♥ ちゅっ♥ ちゅっ♥ ちゅっ♥

△主人公

「ああっ……♥」

クロエ、『左 0 センチ』に移動して話す。

●左 0 センチ

「優しく、でも少しセクシーに微笑む」

ふふっ♥

【※1回※ 耳にキスする。

軽く触れるだけのキス】

ちゅ  
♥】

△主人公△

「……あの、クロエ……♥」

●左 0センチ

「【※3回※ 呼吸する。

うつとりとした呼吸】

はあ、はあ、はあ……♥

【くすくすと笑いながら、うつとりと。

主人公の言葉を受けて、今自分がしている事を述べる】

うん……触ってるよ？

あなたの口や耳にキスしながら……おっぱい触ってる。

すごい、気持ちいい……。

【※しばらく※ 耳舐めする。

軽く出し入れする、戯れるような耳舐め】

んつく……くばつ 

えれれれれ……ちゅぱつ 

ちゅっぽ、ちゅっぽ。ちゅっぽ。ちゅっぽ 

にゅっぽ、にゅっぽ、にゅっぽ、にゅっぽ 

【※1回※ 軽く、ゆっくりと耳を吹く。

不意打ちで聞き手をびくつとさせるイメージで】

ふーっ…… 

【※1回※ 呼吸する。

興奮気味に息をつく】

はあ……  ふふ、気持ちいい？

【優しくからかう。

主人公の胸を触りながら話している】

お耳されながらおっぱい触られるの……好きだもんね 

こんな風に、持ち上げるみたいにして触られるの、好きだもんね 

【少し不思議そうに。

主人公の胸が、何やら以前よりも大きくなっているような気がするので……でも。何（なん）か。ちょっとおつきくなつた……？  
張つてるだけ？

毎日あたしに触られて、おっぱい大きくなつてきちゃつたのかなあ。

【※1回※ 耳にキスする。  
わざと音を立てるキス】

ちゅ ♡

まあ……気のせいか。

【※1回※ 耳にキスする。  
わざと音を立てるキス】

ちゅつ。

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねつとりした耳舐め】

はんむ……れれれ……ちゅぱつ ♡

くぼ、くぼ、くぼ。

ふーつ、ふーつ、ふーつ、ふーつつ。

くふふふふつ……くふつ ♡

ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ。

ちゅこ、ちゅこ、れろつ ♡

れれれれれ……ねぼつ ♡

【優しくからかう】

あー。『びくつ』つでした。

【※1回※ 軽く、ゆっくりと耳を吹く。

先程よりも、軽く、弱いイメージで】

ふー……♥

【※2回※ 耳舐めする。

軽く戯れるようなイメージで】  
れろ、れろつ♥】

クロエ、『左 0 センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●左 0 センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく  
「そつときさやく。」

甘くそつと、でも少し悪戯っぽくささやく】

耳の中でこういう音立てられるとびくつとしちやうの?  
気持ちいいんだ。そうだよね♥

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねつとりした耳舐め】  
れろ、れろ、れろ。  
れろ、れろ、れろつ……♥

【優しくささやく】

沢山しようね。できなかつた分、全部しようね……♥

【※しばらく※ 耳舐めする。】

先程よりも奥まで出入りするような、深くねつとりした耳舐め】

ちゅぽぽぽ……ふちゅつ♥

くつぼ、くつぼ、くつぼ。

ちゅつぼ、ちゅつぼ、ちゅつぼ……♥』※

クロエ、『左 0 センチ』のまま話す。

●左 0 センチ

【「うつとりと興奮氣味に】

はああああ……すごい興奮する。

【※3回※ 鼻呼吸する。】

主人公のにおいをかいでいるイメージで】

はあ。すーっ……ふう。

【うつとりと興奮氣味に。】

あなたの身体、気持ちいい……



【うつとりと、ゆつくり目に】

あー。あたしの手え、おつきく育つて良かつた。  
思いつきり触（さわ）れる……♥』

クロエ、『左 0 センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●左 0 センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく  
「そつときさやく。

甘くそつと、でも少し悪戯っぽくささやく。

乳首を服の上からいじりながら話しているイメージで  
うん。ちゃんとわかってるからね。

ここでしよう？ ここ。

ちよつと膨らんで、硬くなつてるもん。

あなたは。ここを。親指で、やさしーく。

くるくる、くるくるってされるのが好きなんだよね。

【※6回※ 呼吸する。

興奮氣味な、少し荒い呼吸

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあはあ。

【※しばらく※ 耳舐めする。

先程よりも奥まで出入りするような、深くねつとりした耳舐め】  
んつふ……ぴちやつ♥ ぴちやびちやびちや、ぴちやつ♥】※

△主人公

「……あああ♥」

クロエ、『左 0センチ』のまま話す。

●左 0センチ

【にやにやと嬉しそうに。主人公が感じている事が嬉しいので】

なーに？ 服の上からで、もどかしいの？

こんなに……触られてるのに。足りない……？

ふふ。苦しそー……♥

そんなに触つてほしいんだあ。

じやあ、自分で脱いだら……？】

▲2 ここでS E 7がストップする。

S E 8 主人が服を脱ぐ音

【最初から最後まで流す】

〈主人公〉

「……♥」

主人公、自ら服を脱ぐ。上半身だけ裸になつた状態。

クロエ、『正面 30センチ』に移動する。

●正面 30センチ

「興奮気味に、少し驚いて。

主人公がすんなり自分から服を脱いだので】

あ……♥

なんか……凄いね。そんなにしたかったんだ……？  
早すぎでしょ。

自分からおっぱい見せて、やらしー……♥

【※3回※ 呼吸する。

興奮気味に、ゆっくりと】

はー……はー……はー……

【興奮気味に、いとおしそうに】

その位、もう我慢できないんだね。

可愛いね……♥

【優しく。

もう我慢できないだろう主人公に、これからしてあげる事を告げる】

……うん。同時にしよ」

クロエ、『左 0 センチ』に移動して『無聲音ささやき』をする。

●左 0 センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

【優しく、でも少しからかうように】

早くイきたいもんね。薬のせいで、早くしてほしくてしようがないもんねもんね♥  
あなたが一番好きな。乳首とクリトリスさん一緒に触りながら。  
キスしていくやつ、しよう？

……下も脱いで」※

SE9　主人公が服を脱ぐ音2

【最初から最後まで流す】

主人公、自ら服を脱ぐ。今度は、ショーツだけ残した状態。

クロエ、『正面 30センチ』に移動する。

●正面 30センチ

「※1回※ 呼吸する。

【ゆっくりと、興奮気味に】

ふううつ……♥

【うつとりと興奮気味に。

また、やはり胸が大きくなつて いるように感じる事を述べる】

ああ……すご。

ねえ。あなたのおっぱい。

やっぱ、なんかちよつと大きくなつてるよ。

これも薬の作用かな？』

SE10 クロエが主人公の下着を脱がせる音

【最初から最後まで流す】

【次のクロエのセリフと重ねて流す】

●正面 30センチ

「少し意地悪に。

主人公がまだ下着を脱いでいなかつたので。

脱がしながら話しているイメージで

ほーら……ぱんつだけじやだめだし。

こつちも、ちゃんと脱ごうね。

【※6回※ 呼吸する。

ゆっくりと、興奮気味に。

脱がしながら呼吸しているイメージで

はあ、はあ。ふう。

はあ、はあ。

はあああつ……  
♥』

クロエ、『正面 30センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●正面 30センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく  
「[優しく、でも少しからかうように]  
裸になっちゃったね♥」※

S E 1 1 クロエがベッドの上で動く音  
【最初から最後まで流す】

クロエ、『正面 30センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●正面 30センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく  
「[優しく、でも少しからかうように]  
よしよーし……♥ ちゃんと触つてあげるからね。  
ほら……後ろからしてあげるね♥」※

S E 1 2 クロエがベッドの上で動く音 2

【最初から最後まで流す】

クロエ、『右 0 センチ』に移動する。

●右 0 センチ

「少し低い声で。

興奮気味に、うつとりと。

興奮のあまり声が低くなり、それが少しセクシーなイメージで  
あー……もう、すつごい濡れてる。

濡れやすいよね。まだ、ほとんど触つてないじやん。

それに、気持ちいいとすぐ力抜けちやうよね。

ほんと弱すぎだよ……いつも、触られると、すぐ負けちやうもんね♥

クロエ、『右 0 センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●右 0 センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「うつとりと優しく、実感を込めて】

でも……そういうとこも可愛い。

好きだよ……一杯気持ちよくなろうね……」※

SE12 クロエが主人公の股間を愛撫する音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【▲3 で一段階音が大きくなり、速度が上がる】

【▲4 でさらに一段階音が大きくなり、速度が上がる】

【▲5 でさらに一段階音が大きくなり、速度が上がる】

【▲6 でフェードアウトする】

●右 0 センチ

【※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、ふーっ……

【少し低い声で。

興奮気味に、うつとりと。

少しゆっくり目に。

興奮のあまり声が低くなり、それが少しセクシーなイメージで。

『ここ』『この子』等、これらはすべて主人公のクリトリスを指して言っている  
ああ……見つけた。すごい、熱くなつて、勃（た）つてる♥

いつも思うけどさあ。

あなたのここつて、ちっちゃくて可愛いよね♥

この子。こんなにちいやいのに、あなたの全身を簡単に気持ちよくしゃうなんて、  
すごいよね？

あなたはいつも、この子こすこすされたら『んうつ♥』つてなつて、あつきりいつちや  
うもんね。

あたしと付き合う前も、後も。

沢山一人でして、してイきやすい身体になつたんだもんね♥  
どうせこの三日間も、あたしに隠れて一人で一杯してたんでしょ♥

〈主人公〉

「もお……♥ やめてよ♥」

●右 0センチ

「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう

やだ♥ やめない♥ 知りたいもん。

……ねえ。してたんでしょう?」

△主人公

「……つ♥」

●右 〇センチ

「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※】

ほら、やつぱり♥

ああ……見たかったなあ。一人でしてるとこ。

ねえ、今度見せて? 一人えっちでいくとこ見せて?  
どんな風に触ってるか見たいの。ね?」

△主人公

「やーだ。しつこい♥」

●右 0 センチ

「「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※】

お願い♥ 今日、いくらでも気持ちよくしてあげるから。  
ほら……こんな風に」

▲3 ここでSE12が一段階音が大きく、速度が早くなる。

△主人公

「んっ♥ ダメえ……♥」

●右 0 センチ

「「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※】

こんな風に、おっぱいの先摘（つま）まれながら……♥

クリさんを、ちょっと押されるみたいにされるのが好きでしょ？」

「主人公」

「んつ♥ ダメえ……♥」

●右 0センチ

「くすくすと嬉しそうに。

優しくからかう。

※あまり意地悪過ぎない印象でお願いします※】

えーダメえ？ 教えてくれないの？

ほんとに？ ふふふふ♥

【優しいが、有無を言わせないトーンになる。

ここから本格的に攻めていくイメージで。

※特に聞き手をドキッとさせるイメージでお願いします※

……でも、触っちゃう。

だつて、おしおきだもん。

困つてた分、一杯気持ち良くしてあげる……」

〈主人公〉

「……あ  
♥」

●右 0センチ

「〔※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあつ……。

〔優しいが、有無を言わせないトーンになる。  
少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで】

んー……？ そんなに気持ちいい……？

かわいー……。

〔※1回※ 耳にキスする。

わざと音を立てるようなキス】

ちゅ  
♥

〔※しばらく※ 耳舐めする。

ねつとりとした、わざと音を立てているような耳舐め】

れんろ……れんろ……ちゅぱつ 

れーろれろ、れーろれろ、くぼぼつ 

【優しいが、有無を言わせないトーンになる。  
少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで】

そう……おっぱいも、お耳も、あそこも。  
一緒に気持ちよくしてあげるから、イこう?  
【※しばらく※ 耳舐めする。

ねつとりとした、わざと音を立ててているような耳舐め】

れれれれれ……つぶつ 

ぬつぽ、ぬつぽ、ぬつぽ、ぬつぽ   
ぬつぽ、ぬつぽ、ぬつぽ、ぬつぽ 

▲4 ここでS E 1 2がさらに一段階音が大きく、速度が早くなる。

クロエ、『右 0センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「優しいが、有無を言わせないトーンでささやく。  
少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで】

こうやつて……あなたが一番好きな速さでクリさん擦りながら。  
時々……こんな風に摘まんだり。ねじねじ……つてしたり。  
乳首もしこしこしてあげるから……。

何も考えずに、イこ？

【※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸。

段々荒くなる】

はあ、はあ、はあ。  
はあ、はあ、はあ……。

【優しいが、有無を言わせないトーンでささやく。

少し低めに、セクシーな感じで。

完全に攻めモードで】

そうだよ……それでいいの。頭真っ白にして……イこ？  
ぜーんぶあたしがしてあげるからね】※

▲5 ここでS E 1 2がさらに一段階音が大きく、速度が早くなる。

クロエ、『正面 0センチ』に移動してキスする。  
お互いに顔の角度を変えてキスしている。

●正面 0センチ

「【※5回※ キスする。

ちゅぱちゅぱとした、ねつとりしたキス】

ちゅつ。ちゅつ。ちゅ

ちゅるるる……ちゅつ

♥

クロエ、『正面 0センチ』のまま『無聲音ささやき』をする。

●正面 0センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく  
「【優しく、少し余裕のない感じでささやく。

少しだけ早口になる】

いいよ……いいよ、イつて。

いいよ……いいよ。いいよ

♥

このままキスしててあげる……んふつ♥

【※6回※ 呼吸する。

興奮気味な、やや早い呼吸。

段々荒くなる】

はーふう、はーふう、はーふう。

【※3回※ キスする。

ねつとりとした、わざと音を立ててているようなキス】  
んつく……んーつふ……ん♥

【優しく、少し余裕のない感じでささやく。

少しだけ早口になる】

イこ……イこ。イこ。イーこ♥

【※しばらく※ キスする。

※キスしながら、苦しそうに鼻呼吸する※  
ねつとりとした、わざと音を立ててているようなキス】

ちゅつ♥ んつ♥ んんなんう……んつ♥

はーふう、はーふう、はーふう。

んつく……んつ♥ ちゅ♥ ちゅ♥

ちゅ♥ ちゅつ……れろろろつ、ちゅつ♥

【※キスしながら、特に苦しそうに鼻呼吸する※  
主人公の絶頂が近づいているので】

んつ……。 んんなんう……んんー……  
んーつ……んつ♥ ん♥ ん♥ ん♥  
んつ。 んんつ……んんなんうつ……♥

【※ここで主人公が絶頂する※

絶頂した事が比較的わかりやすい、喘ぐような呼吸  
んんんんうつ……！】※

▲6 ここでSE12がフェードアウトする。

SE13 クロエがベッドの上で動く音  
【最初から最後まで流す】

クロエ、『正面 30センチ』に移動する。

●正面 30センチ

「【※8回※ 呼吸する。

まだ口がふさがった、キスした状態で、苦しそうに鼻呼吸する※  
段々ゆっくりになり、落ち着いていく

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう……。

【ここで唇を離す】

ちゅぱつ♥』

S E 1 4 クロエがベッドの上で動く音 2

【最初から最後まで流す】

●正面 30センチ

「【※16回※ 呼吸する。

まだ苦しそうな呼吸。

段々ゆっくりになり、落ち着いていく

はーふう、はーふう、はーふう、はーふう……。  
はーふう、はーふう、はーふう、はーふう……。

【まだ余裕はないが、にやにやと嬉しそうに。

主人公が達してくれて嬉しいのでー

ふふ……気持ちよかつたね……



ほんとにあつという間にイッちゃつたね……♥

【※1回※ キスする。

軽く音を立てるキス】

ちゅ ♡

【※8回※ 呼吸する。

だいぶ落ち着いてきた呼吸。

さらに段々ゆっくりになり、落ち着いていく】

はあああ……ふーつ。

ふーつ。ふーつ。ふーつ……。

ふうう、ふうう、ふううつ……】

クロエ、『左 0 センチ』に移動して『無聲音ささやき』をする。

●左 0 センチ 『無聲音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「まだ余裕はないが、にやにやと嬉しそうに。

主人公が達してくれて嬉しいので。

また、今夜はまだまだセックスしたいので】

まだまだ……いっぱいしようね♥

【※3回※ 耳にキスする。

軽く音を立てるキス】

ちゅ♥ ちゅ♥ ちゅ♥】

ここでフェードアウトして終了。